

(別添様式 1)

創薬ナビ申込書

申込日	令和 6 年 12 月 x 日		
相 談 者 情 報	フリガナ	キコウ	ジロウ
	氏 名	機構	次郎
	所属機関名	〇〇大学	
	所属部署	大学院〇〇研究科	
	役職	准教授	
	郵便番号	〒XXX-XXXX	
	住所	大阪府大阪市 XX 区 XXXX	
	TEL	06-XXX-XXXX	
	E-mail	aaa@aaa.ac.jp	
開催方式 の希望	<input type="checkbox"/> WEB 会議（オンライン） <input checked="" type="checkbox"/> 対面（大阪） （オンラインを原則としていますが、対面を希望の場合は、東京（日本橋）、大阪（本町）のいずれをご希望か（ ）内にご記載ください。）		
研究課題	血管内皮細胞に存在する抗がん作用を持つ新規血管新生抑制因子		
対象疾患	肝臓癌		
研究の背景と 現状	<p>がんの増悪に血管新生は不可欠であることから、血管内皮を対象として関連する生理活性を持った物質の探索を目指し、健常者の血管内皮細胞についてマイクロアレイを用いたトランスクリプトーム解析を行い、mRNA の発現を検討した。他の正常組織に比べ血管内皮細胞で高発現が認められた転写物について cDNA 化し、分泌型タンパク質について CHO 細胞を用いたリコンビナントタンパク質の発現誘導を行った。複数のリコンビナントタンパク質について VEGF による血管新生の阻害を指標にスクリーニングした結果、これまで機能未知であったタンパク質 X を見いだした。リコンビナントタンパク質 X をヒト肝細胞癌細胞株 Huh-7 皮下移植ヌードマウスに投与したところ、腫瘍増殖の遅延が認められ、タンパク質 X に抗がん活性があることが認められた。また VEGF に拮抗して血管新生を抑制する効果を認めた。</p> <p>新規タンパク質の分離同定及び ELISA による測定系の開発を終了している。</p> <p>本タンパク質に対するマウスモノクロナル抗体を樹立し、ELISA による当該タンパク質の測定系を確立している。</p> <p>タンパク質 X は創薬に結びつく可能性があると考えている。</p>		

相談内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 相談事項 1 製剤化について タンパク質 X の製剤化について相談したい。 ● 相談事項 2 低分子化合物の獲得法について タンパク質 X に代わる低分子化合物の獲得法について相談したい。
特許出願状況	物質特許を申請している（出願番号：〇〇〇〇、出願日：〇年〇月〇日、発明の名称：■ ■ ■ ■）。
論文発表、学会発表	20xx 年●●学会 N Engl J Med. 376, 709-13 20xx
企業との連携状況	企業との共同研究等を実施しておらず、また研究費の提供等は受けていない。
備考	
参考文献	関連文献を以下に記載し、PDF ファイル（他者に提供可能なものに限る）で送付してください。
1.	● ● ● ●
2.	■ ■ ■ ■
3.	△ △ △ △

創薬ナビ（無料相談事業）をどちらでお知りになりましたか。プルダウン選択願います。	
○	ア) AMED ホームページやメールマガジンを見て
	イ) 過去に相談した経験から
	ウ) 学術集会等でのポスターまたはチラシを見て
	エ) 大学内に掲示されたポスターを見て
	オ) 研究者等からの紹介によって
	カ) その他